

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/04/04号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

急激な円安で円建てゴールド再び歴史的な高値更新

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



円建てゴールドはふたたび歴史的な高値を更新しました。月曜日に7732円をつけました。この背景は急速にすすんだ円安です。28日、日銀が国債を0.25%の金利での無制限買い入れ、つまり資金供給をして金利の上昇を抑えると発表、この発表直後からドル円は122円から125円に急騰しました。これから金利を上げていくことがほぼ確定している米国FRBに対して、金融緩和の継続をはっきりと打ち出している日銀の180℃真逆の金融政策の結果、今後より広がっていく金利差がドル高、円安に向かうのは必然であり、この激しい動きとなりました。さすがにあまりに急激な動きと125円の達成感もあったのか、その後は反落となりましたが、長期的にはさらなる円安の可能性が高く、ドル建てゴールドは1900ドルを割り込むとすかさずバーゲンハンティングの買いが入り、下値はインフレ懸念からのゴールドを買うチャンスを待つ投資家の存在で底堅く、円建てゴールドにとってはまだまだ歴史的な高値の更新が将来ありそうです。金曜日に発表された注目の3月の米雇用統計、非農業部門雇用者数（NFP）は市場予想の49.2万人増に対して、43.1万人増と若干悪い数字でしたが、マーケットは大きな反応は示しませんでした。失業率は3.6%と予想の3.8%よりもよい数字で、米雇用状況は非常に堅調であると言えます。これはFRBが積極的に金利を上げインフレ対策を行うことがよりしやすい状況となり、今後の金利上げの加速の可能性を予想させます。ウクライナ情勢は4回目の停戦交渉が行われていますが、目立った進展はなさそうであり、地政学リスクはいまだ背景として存在しています。インフレと地政学リスクというゴールドの二つの上昇要因はまだ健在です。

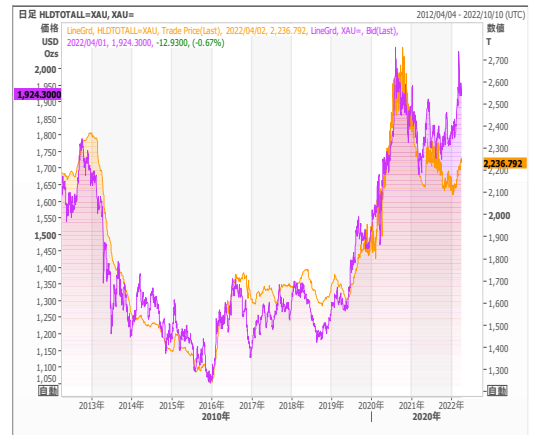
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールドの金利

「金は金利を生まない」と一般に言われおり、それを信じている人も多い。しかし現実ではゴールド、シルバー、プラチナ、そしてパラジウムにもプロの間のいわゆるインターバンクではちゃんと金利が存在しています。ゴールドは外国為替の一種であり、その取引形態が通貨と一緒にある以上、ドル、ユーロ、円などと同様に、金利がついているのです。唯一通貨と違う点があるとすれば、メタルの金利は「インタレスト・レート」とは言わず、「リース・レート」と呼ばれること。それではなぜ金利を生まないと考えられてきたのでしょうか？それは歴史的にゴールドの金利が、通貨の金利と比べると遥かに安かったことが最大の原因。たとえばドル金利が5%であるときに、ゴールドのリースレートが0.3%であれば、ゴールドは金利を生まないと言われても仕方ない状況であると言えるでしょう。実際ゴールドのリースレートは過去数十年にわたって超低位安定であり、インターバンクのレベルでこの低利率であれば、投資家に金利を提示することはほぼ不可能です。その上、ゴールドを運用するのは基本的には、ロンドンのゴールドアカウントであるロコ・ロンドン口座での貸借なので、日本でゴールドを持っていてもそれを運用する方法はなく、純金積立やゴールドETFで積み立ててある現物も、東京の特定倉庫に保存されており、運用益どころか、逆に保管費を徴収されます。それ故に「金は金利を生まない」と言われているのでしょうか。しかし、ここ数年の金融緩和により世界中でゼロ金利が広がり、貴金属のリースレートが相対的に「高金利」になっています。特にプラチナは昨年、今年と供給過剰であるはずなのに、一年のリースレートが3~4%とどんな先進国通貨よりも高金利な状況が続いているのです。この背景には中国の影がちらついていますが、メタルの金利、リースレートとは、現物の過不足を直接に示す数字として、投資家が注目すべき数字と言えます。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

